

北見武道通信

令和6年7月11日 00699号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

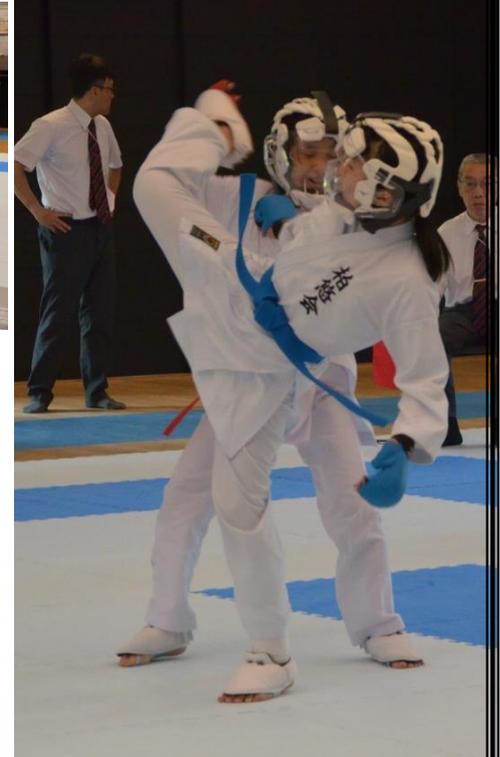
URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】第28回北見市総合武道祭の紹介② 6月15日(土)の武道祭の中



で北見市空手道連盟の「第6回北見地区少年少女空手道大会」が行われました。【形競技】リーグ戦と【組手競技】予選リーグ戦・決勝トーナメント戦が全試合1分30秒で行われ、各競技練習の成果を出し切る熱戦が繰り広げられました。〈佐藤〉



事務所の花シリーズ「クガイソウ」

農道の脇に今どきスーッと青の15~20センチの長い花が見られます。沢山の草に負けまいと長めの丈に、花も背伸びするように美しくさいています。〈渋谷〉

連載 中国「老子」の思想

四十一章「大器は晩成す」

正真正銘の士(立派な人物)は、「道」を聞けば、熱心に実行する。どうか士といえる程度の人には、「道」を聞いても、半信半疑である。士とは名ばかりの連中は、「道」を聞くと、腹を抱えて笑いだす。だが、こんな連中の物笑いにならないようでは、「道」とはいえない。古人もいったではないか。「真に明るい道は、暗く見え、真に前進している道は、後退しているように見え、真に平坦な道は、けわしく見える。高い徳は、低く見え、真の白さは、汚れて見え、広大な徳は、欠けているように見え、堅固な徳は、その場限りに見え、変わらぬ徳は、うつろいやすく見える。またとなく大きい四角は、角が見えず、またとなく大きい器は、完全な器とは見えず*、またとなく大きい音は、耳に聞こえず、またとなく大きい形は、判別できない」「道」は、われわれの感覚を超えた存在である。ただ、万物を生々発展させる根元として、その存在を疑うことはできないのである。*〈またとなく大きい器は、完全な器とは見えず〉いわゆる「大器晩成」なる語の出典はこれであるが、現在では意味を取り違えて用いられている。成語には、えてしてこのような例が多い。原文:上士聞道、勤而行之。

中士聞道、若存若亡。下士聞道、大笑之。不笑不足以爲道。故建言有之。明道若昧、進道若退、夷道若類。上德若谷、大白若辱、廣德若不足。建德若偷、質真若渝。大方無隅。大器晩成。大音希聲。大象無形。道隱無名。夫唯道、善貸且成。四十二章に続く